

平成 30 年度 学校運営計画

1 学校教育目標

豊かな心と夢をもち、自ら学び続けるたくましい児童の育成
 ○自ら学ぶ子 ○思いやりのある子 ○体をきたえる子

2 本年度の重点目標

互いのよさや違いを認め合い、進んで自分の思いや考えを表現する児童の育成
 ち…知恵を出し、進んで発表する子 (知)
 ど…どんどん伝え、心をつなぐ子 (徳)
 り…リズムを整え、粘り強く挑戦する子 (体)

3 学校運営の方針

重点目標達成のために全教職員が創意を結集し、児童を主体とした教育活動を推進する。

(1) 信頼される学校づくり

ア 望ましい人間関係づくり

- ・子供一人一人のよさを生かし、望ましい行動がとれるよう支援する。
- ・教師と子供の触れ合いを大切にされた教育活動の充実に努める。

イ 家庭・地域と連携した学校づくり

- ・地域の関係機関と連携を図り、子供の安全確保に努める。
- ・家庭、地域、学校がそれぞれの機能を生かした活動を推進するよう働きかけるとともに、家庭や地域の教育力を活用し、地域に根ざした学校運営に努める。
- ・幼保・小・中の連携を密にし、子供の指導・支援に生かす。

(2) 活力ある学校づくり

ア 温かい雰囲気のある学級・学校づくり

- ・自己有用感をはぐくみ、夢や希望をもつ子供を育てる。
- ・心の居場所づくりや絆づくりに努め、いじめや不登校の未然防止に取り組む。
- ・保護者との連携を密にし、信頼関係づくりに努める。
- ・問題が生じたときは、全教職員で解決を図る。
- ・一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導・支援に取り組む。

イ 確かな学力の育成

- ・「分かる喜び」を体得させるとともに、体験的な活動や言語活動の充実に努める。
- ・知識及び技能を習得し、これらを活用して課題を解決する思考力・判断力・表現力等を育てる。
- ・個に応じた指導や確実な習得を図るための繰り返し学習の充実に努める。
- ・読書活動を充実させ、生涯を通して学ぶ力の基礎を築く。
- ・家庭の協力を得て家庭学習の充実に努め、子供の自主性を高める。

ウ 豊かな心と健康な体の育成

- ・基本的な生活習慣を身に付け、健康な体づくりを進んで実践していく子供を育てる。
- ・教師と子供、子供相互の人間関係をはぐくみ、思いやりをもった子供を育てる。
- ・社会性や豊かな人間性をはぐくむ、体験活動の充実に努める。
- ・「特別の教科 道徳」を要として、様々な教育活動を通して道徳教育の充実に努める。
- ・うるおいのある教育環境の整備に努め、効果的な活用方法を工夫する。

(3) 安全・安心な学校づくり

- ・安全管理を進めるとともに、自分の命を自ら守る行動に結び付く指導をする。
- ・実効性のある危機管理ガイドラインを作成し、避難訓練等を実施する。
- ・通学路や校区の安全づくりに、保護者や地域、関係機関と協力して取り組む。

(4) 開かれた学校づくり

- ・学校だよりやホームページ等を通じて、学校の様子や情報を積極的に発信する。
- ・学校評価を実施し、学校改善に生かす。